

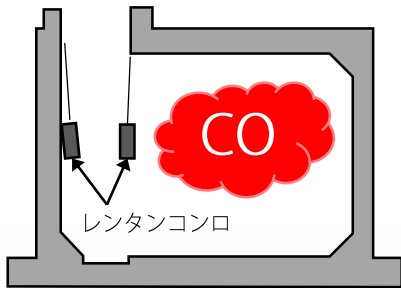
飲用水管埋設工事中的一酸化炭素中毒防止に

※ 厚生労働省【職場のあんぜんサイト】の労働災害事例より参照



飲用水管の埋設工事などでは、減圧弁室のコンクリートの養生で練炭を使用することがあります。

練炭からは一酸化炭素(CO)が発生するため、練炭を使用した作業現場に入る際は、十分な換気と、一酸化炭素濃度の確認を推奨いたします。入場前にポンプユニットと組み合わせたポータブルガスモニター **GX-3R** で現場のCO濃度を検知し、作業中は携帯式一酸化炭素検知器を作業者が身につけることにより、安全を確認しながら作業ができます。



レンタンコンロ

減圧弁室

ここがポイント！

- **GX-3R**
→ 酸欠や硫化水素など、一酸化炭素以外のガスも最大4種類検知可能。
→ ポンプユニットで吸引式としても使用可能。
- **CO-04**
→ 手のひらサイズで軽量(約93g)の一酸化炭素検知器です。
- **GW-3**
→ 小ささと軽さ(約45g)を追求した一酸化炭素検知器です。

ポータブルガスモニター
Model : **GX-3R**



ポータブルガスモニター
Model : **04シリーズ**



ポータブルガスモニター
Model : **GW-3**



理研計器株式会社

【営業本部】
〒174-8744
東京都板橋区小豆沢2-7-6
TEL: 03-3966-1111

詳しい内容はお近くの営業所まで
<https://www.rikenkeiki.co.jp/>